

平成22年度第2回豊山町地域公共交通会議議事録（要旨）

1 開催日時 平成22年2月15日（火）午後2～午後4時

2 開催場所 豊山町役場4階 研修室2

3 出席者

(1) 豊山町地域公共交通会議委員

委員 豊山町長	鈴木幸育
あおい交通(株)代表取締役	松浦秀則
名鉄バス(株)運輸部運輸第2課長	藤田信彰
名古屋市総務局企画部企画課主幹	宮田隆志(代理)
(社)愛知県バス協会専務理事	長崎三千男
名古屋タクシー協会専務理事	永山明光
豊山町老人クラブ元地区役員	伊藤千歳
中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官	小林裕之
あおい交通(株)運行係長	工藤彰郎
愛知県地域振興部交通対策課課長	崎下雅司(代理)
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授	福本雅之(代理)
豊山町総務部長	長縄松仁

(2) 欠席者

豊山町心身障害者福祉協会役員	河村君枝
尾張建設事務所維持管理課長	渡辺博喜
西枇杷島警察署交通規制係警部補	太田英一

(3) 傍聴者

名鉄バス(株)関係者 3名

(4) 事務局

豊山町総務部理事	加藤千春
豊山町総務部総務課長	安藤光男
豊山町総務部総務課企画財政・情報係長	高橋公仁

4 議題

- ① あいさつ
- ② 協議事項
 - (1) 豊山町地域公共交通総合連携計画案について
- ③ その他

5 会議資料

- ・豊山町地域公共交通総合連携計画案
- ・豊山町の路線バスOD調査結果
- ・豊山町民の交通実態に関するアンケート調査結果・アンケート用紙
- ・豊山町民の交通実態に関するグループインタビュー調査結果
- ・豊山町公共交通マップ
- (追加資料)「地域公共交通シンポジウム」開催のご案内(中部運輸支局より)
- 23年度公共交通関連予算の概要(中部運輸支局より)
- MANACAについて(名鉄バス㈱より)

6 議事内容

- ①あいさつ
 - ・総務課長より開会のあいさつ
 - ・町長(会長)よりあいさつ

【 会 長 】 本日は、昨年8月に開催した、第1回の地域公共交通会議で、策定をご承認いただいた、本町の地域公共交通総合連携計画について、ご提案させていただきます。

この計画は、平成14年にとよやまタウンバスの運行を開始して以来の、本町が取り組んできました公共交通事業について、総括するとともに、これからのあるべき姿について、まとめたものである。

調査にあたっては、すべての路線の乗降調査を行うとともに、住民の皆様の5人に1人にあたります、約3,000人の方々に詳細なアンケートをとった。また、その上で行ったグループインタビューでは、数字には表れにくい、住民の皆様の生の声をできる限りすくいあげるようにつとめた。その後、本会議の幹事会であります。住民代表や、運行事業者の皆様に、現在の本町の公共交通の長所と短所、強みと弱みについて、詳細かつ、幅広い議論をしていただき、課題と対応策を作成していただいた。

自分の行きたいところに、自由に足を運びたいというのは、誰にでも共通する、ごく自然な思だが、その思いもかなわない方が大勢いらっしゃる。行政として、そのような方々の移動の自由を少しでも確保する必要がある。また、4月から、県営名古屋空港の隣接地にJAXA、宇宙航空研究開発機構の飛行実験施設が開設されるなど、ますますたくさんの方々が、本町に足を運ばれることが見込まれ、空港の利

用者の方々のアクセス手段も、しっかりと確保しておく必要がある。
このように、公共交通は地域住民の皆様の福祉に資するだけではなく、地域振興の観点からも、重要な施策であると考えている。

②資料確認・会議公開

- ・配布資料の確認
- ・会議を原則として公開することの確認

③協議事項

(1) 豊山町地域公共交通総合連携計画案

- 【 会 長 】 豊山町地域公共交通総合連携計画案について、説明を求める。
- 【 事 務 局 】 (資料に基づき、説明)
- 【 会 長 】 ただいまの報告について、ご意見やご質問はないか。
- 【 A 委 員 】 豊山町は行政面積が狭いところに、とよやまタウンバス、名鉄バスの西春・空港線、あおい交通の名古屋空港直行バスと複数のバス路線があり、相当のレベルにあると思う。大事なのはハード面よりもソフト面のサービスを持続することである。
北部市場東を利用されている方は、徒歩、自転車、車などでアクセスしているのか分からないが、利用者数は多いので、バス停の利用価値は高いと思う。
タクシーについて、今回の計画案にふれられていた。タクシーは24時間利用できて、ドアトゥドアで動けるという特徴がある。デマンド交通の話が出たが、公共交通として潜在的な力をもっている。バスで対応できなところは、タクシーで対応するなど、その力を活かせばよいと思う。
また、「連携」ということについてだが、どのように連携するのか、乗り換えしやすいようにダイヤを組むなど、いろいろな連携の形がある。
夏休みなどに無料キャンペーンを行うのは効果的だと思う。まずは乗ってもらうことが大切だ。乗ってもらえれば、関心も高まってくると思う。
- 【 事 務 局 】 ソフト面についてだが、どんなに利便性が高くても一度乗ってもらわないと、その利便性は伝わらない。乗車キャンペーンもその一環である。とよやまタウンバスだけではなく、他のバス事業者と連携したい。現在、町内に3種類のバスが走っているが、すべて乗り方などが違う。こちらについても伝えて行きたい。
タクシーについてはこれまで本町で公共交通会議ではあまり取り上げてこなかったが、デマンド交通を含めて、公共交通のみにひとつとして考えていきたい。
- 【 A 委 員 】 たとえば、地域の大型商業施設と共同して、割引のキャンペーンなどを行うのも面白いと思う。

- 【 会 長 】 大切なのはPRして乗っていただくことであると思う。
- 【 B 委員 】 加藤委員の代理として出席している。加藤は委員として、事前にこの計画を読んでおり、ソフト施策を充実させられないかと託ってきている。例えば、町外の人たちや子どもたちへのPR、公共施設におけるPRなどについても盛り込んでどうかということである。
- 【 会 長 】 とよやまタウンバスは小牧の市役所から、本町を通り、名古屋の栄に走っているが、東西については行っていない。小牧市や北名古屋市にもバスがある。これらのバスとの連携についても将来的には考えていかなければならないかもしれない。
- とよやまタウンバスは使ってみると便利がよいという声を聞く。そういう声をより、たくさんの人に聞いていただく、PRをより上手に行う必要がある。とくに、南ルートが町外に出て運行しているところが、自負できる場所であると思う。
- 【 A 委員 】 アンケートの結果の中で、「未記入・無効」という項目が目立つところがあるが、グラフによっては、誤解を与える可能性もあると思う。
- 【 B 委員 】 ご指摘の通りであるので、未記入・無効を除外して集計すべきかどうか検討した上で、必要なものについては修正したい。
- 【 C 委員 】 バス路線間の連携による利便性の向上において、町内の公共交通すべてに利用できる交通パスポートの実現を目指して事業者と調整を行うという記述があるが、豊山町内だけの利用なのか、それとも全路線のものなのか。また、バス事業者との契約や、費用や運賃の負担の割合など、具体的な案はあるのか？
- 【 事務局 】 現在のところ、具体的な策についてはまだ検討していない。バス事業者間の連携のひとつの方向として、検討の課題としてあげさせていただいている。実際に行うにあたっては、同じテーブルについて、調整する必要があると考えている。
- 【 C 委員 】 当社（名鉄バス）の運賃と、とよやまタウンバスの運賃は異なっている。実施するにあたっては、他への影響も大きく、当社としては慎重にならざるを得ないところがある。その点をご検討いただきたい。
- 【 事務局 】 計画においては実施を検討するということであり、実施を決定したわけではない。実現の可能性も含めて、検討していくということである。
- 【 会 長 】 大都市で行っていることを、そのままとよやまタウンバスですぐに行うのは難しい。少しずつ、実現していきたい。
- 【 D 委員 】 名鉄バスさんがおっしゃっているように、いろいろなバス会社からむと、簡単にはいかないところもあるかもしれない。まずは、とよやまタウンバスから、やれるところからやるというのがよいと思う。
- 【 E 委員 】 パグブリックコメントの時期が決まっているなら教えてほしい。
- 【 事務局 】 町広報で告知した後、3月1日から15日を予定している。
- 【 E 委員 】 この事業は地域公共交通活性化及び再生に関する法律に基づいている。法律の中にある実施主体や実施時期などについて、明確化に書いてほしい。一枚の紙に、実施主体や時期について、ぱっと見て分かる

ようにまとめるとよい。

先ほどの説明では人口が増えているということだったが、転入者の方々に、積極的に公共交通をPRすることを提案したい。

また、公共交通マップについてだが、弥富市などでは同様のものに広告を入れているので、検討してはどうか。

ターミナルの候補地として、社会教育センターがあげられているが、北部市場東のバス停が利用者が多いならば、そこも考えてもよいのではないか。

【事務局】 実施主体等については、ご指導のとおり、明確にし、一枚の紙で実施時期とともにわかるようにあらためる。

転入者へのPRについては、先ほどの加藤委員からの提案とあわせて、広報活動の項目に追加したい。

広告については、本年度から本町においても積極的に活用し、封筒などに広告を入れて、財政の軽減を進めることになった。また、バス車両に広告を掲載したいという提案も業者から受けることもあり、広告効果は高いと思われるが、もし行うならば、豊山町そのものをPRするものとして、バスを考えたいと思っている。公共交通マップについては、現在のあり方が最も良いのか、大きさや内容などを再検討する必要もあると思う。その中で、広告についても検討したい。

北部市場東については、自転車置き場などの施設は現在のところない。また、現在あるバス停にも道路の状況などから、上屋などの特別な施設を設置するのも困難である。また、名鉄バスや名古屋空港直行バスも北部市場へは乗り入れを行っていない。たしかに利用者の多いバス停ではあるが、ターミナルということだと、現在すでに乗り入れをしている公共施設である社会教育センターを活用するほうがよいと思われる。

【E委員】 実施主体についてだが、住民がすべき事項が見当たらないが、公共交通への住民の参加についてはどう考えているか。

【B委員】 住民に対して、バスの乗り方の教室をやることも考えているが、とくに住民主体の事業については現在のところ計画の中にはない。他の自治体では、ボランティアによる車掌や、住民によるバスの応援団などが作られていることもある。いろいろな方法がある。

【事務局】 住民の参画がなければ連携計画として成立しないということか？

【E委員】 成立するが、あったほうがよいのではないかという提案である。

【A委員】 自分たちのバスだという意識が自然と芽生えて、バス停の掃除を行ったりというふうに盛り上がるとよいとは思いますが、行政が住民に強制してやるべきものではないと思う。

【B委員】 バスのファンが増えていって、自発的な住民の行動が生まれるようにすることが望ましい。

【F委員】 目標年次やタイムスケジュールについてももう少し明確にしないと、パブリックコメントをやったとしても、市民がどう答えてよいのかわか

- りにくいところがある。
- 【 G 委員 】 ケーズデンキに自転車をこっそりと置いてバスに乗っている人がいる。堂々と置けるようにしてほしい。
- 【 E 委員 】 今あげられたような住民の意見を、積極的に取り入れるべきである。
- 【 A 委員 】 あくまでも計画案であるので、最初からすべてを具体化してパブリックコメントを行う必要はないと思う。必要があれば、後に修正してもよい。
- 【 E 委員 】 ある程度の方針は具体的に固めてから提案する必要がある。
- 【 事務局 】 バス支援等の住民の参加について、人口規模等が違うため、他自治体の事例を現時点においてそのまま取り入れることは難しいと考える。バスの利用者がどのように考え、感じているのかというなどを、たとえば36ページにあげている無料キャンペーンなどを通じて、利用者や住民の皆様の声をすくいあげていきたい。事業の実施主体や期間については、計画ではあくまでも検討することになっているので、具体的に個別の事業についていつから実施すると明記するのは難しい。名鉄バスから指摘のあった交通パスポートについては、現在の書きぶりでは執行が前提となっていると誤解される可能性があるので、他の項目と同様に、可能性を検討するというような書き方に変更することを考えたい。
- 【 D 委員 】 4月からJAXAの飛行実験施設ができる。また、エアポートウォーク名古屋にも人が集まっている。住民だけではなく、町内の企業や事業者などの利便性についても積極的に考えるとよいと思う。また、名古屋市の北区に新しく西部医療センターができる。こういう場所にもアクセスしてほしいという要望があるかもしれない。利用者にとって魅力ある行き先について、全体的に考えていくことがよいと思う。
- 【 会長 】 いろいろなご意見をいただいた。これらの意見を参考にしながら、計画案の修正や検討を行いたい。修正の内容については、事務局に一任していただくということによろしいか。

(異議なしの声あり)

- 【 会長 】 では、この後、事務局で修正を行い、パブリックコメントを行った後、3月に予定されている第3回の協議会にあらためて計画を諮りたい。
- 【 司会 】 その他について、事務局より何かあるか。
- 【 事務局 】 第3回の会議は3月24日(木)を予定している。
- 【 E 委員 】 (追加資料に基づき、地域公共交通シンポジウムと平成23年度公共交通関連予算の概要について説明)
- 【 C 委員 】 (追加資料に基づき、MANACAについて説明)

- 【 D 委員 】 3月21日に、名古屋空港直行バスについて、新しいバス停を設置する予定である。現在の役場前の豊場のバス停を社会教育センターへ移動させ、「空港口」バス停としたい。また、国道41号の手前の辺りに、「幸田」バス停を設置する。豊山町の住民がより名古屋方面に出やすくなる。あわせてダイヤも改正する。県営名古屋空港からジェイエアが撤退するなどして、航空機の便数が減っているが、本路線は地域の皆様にも使っていただいているので、利用者の迷惑にならないように、できるだけ現在のダイヤに近い形で、運行していきたい。
- 【 司 会 】 その他について、他に何も無いようなので、以上で会議を終了する。